

CLARiX の基本管理—Self Study

コース概要



e-Learning

この専門レベルのコースでは、Navisphere Manager と CLI を使用した、CLARiX ストレージ・プラットフォームにおける基本的な管理機能の実行方法について詳しく説明します。このコースは、CLARiX の導入に焦点を合わせたクラスルーム・トレーニングの受講前提条件となります。

コース番号:	MR-9WP-CLBMSP-JPN		
受講形式:	自習教材	期間:	2 時間

受講対象者

このコースは、現在次の業務に携わっている担当者、または今後携わる予定の方を対象としています。

- 各自の環境で CLARiX ストレージを使用する
- CLARiX ストレージを使用してカスタマー・ソリューションを設計および提案する
- CLARiX ストレージを使用してカスタマー・ソリューションを計画および導入する

受講前提条件

受講前提条件を示しますが、これはクラスに参加する前に修了しておく必要があります。受講前提条件となるコースは、次のとおりです。

- CLARiX の基礎—Self Study (MR-9WP-CLRNFD-JPN)

-または-

- EMC テクノロジーの基礎

-および-

- CLARiX の機能—Self Study (MR-9WP-CLRFSP-JPN)

このコースを受講する前に、受講者は、IT の概念を十分に理解し、ストレージの概念についての基本的な知識を習得しておく必要があります。

目的

このコースを受講すると、下記の内容を学ぶことができます。

- CLARiX アレイの管理に使用するユーティリティを一覧にする
- Navisphere Manager GUI の構造を説明する
- ストレージ・オブジェクト管理メニュー項目を説明する
- CLARiX の障害が発生した場所を判断する
- Navisphere Manager でストレージ・オブジェクトを作成して管理する
- CLARiX ストレージ・オブジェクトのプロパティを表示する
- Navisphere CLI の構文を説明する
- Navisphere CLI でストレージ・オブジェクトを作成して管理する

モジュールの内容

各モジュールは、コースの目的に対応するように設計されています。このコースには、次のモジュールが用意されています。

- EMC ControlCenter Navisphere Manager
- EMC ControlCenter Navisphere CLI

CLARiX の基本管理－Self Study

コース概要



e-Learning

実習

実習では、学習した内容を確認します。このコースの実習は、次のとおりです。

- なし

実力テスト

実力テストでは、学習した知識やスキルを確認します。このコースの受講後にはオンライン・テストがあります。